



万全な保健衛生体制でのクルーズ再開に向けたより厳格なプロトコル 専門家が提言

*「ヘルシー・セイル・パネル」が乗客、乗組員、コミュニティの保健衛生対策として
詳細にわたる74ステップを提言*

東京-2020年9月28日 — 医・科学界の世界的権威が名を連ねる専門家委員会の提言によると、乗客や乗組員対象に新型コロナウイルス感染症検査を含む予防その他の対策を怠りなく継続することで、クルーズ船環境でのパンデミックといった公衆衛生上リスクは軽減できるとされています。

9月21日、ヘルシー・セイル・パネル(安全航行のための専門家委員会)は米国疾病予防管理センター(CDC)に提言を提出しました。CDC側からパブリックコメントの要請を受けたもので、今後のクルーズに関連した公衆衛生ガイドンスや予防措置に活用されます。この委員会はロイヤル・カリビアン・グループ(NYSE:RCL)とノルウェー・ジャンクルーズライン・ホールディングス(NYSE:NCLH)が今年6月に共同で立ち上げたもので、メンバーには公衆衛生、科学、工学の知見を最大限に活用した提言を行ってきた医療、医学研究、公衆衛生、感染症、バイオセキュリティ、ホスピタリティ、海事オペレーションの分野で世界的に認知されている専門家が名を連ねています。

65ページを超える提言書には乗客、乗組員、寄港地コミュニティの健康と安全を守るためのベストプラクティスが、感染症検査実施、フェイスカバー着用、船内やターミナル内の衛生手順強化などを含め74項目にわたって詳細に記載されています。委員会座長はマイク・レヴィット知事(元米国保健福祉省長官)とスコット・ゴットリーブ博士(元米国食品医薬品局長官)が務めています。

ゴットリーブ博士は「これまで4か月にわたり、ヘルシー・セイル・パネルはクルーズ船の乗客や乗組員の健康と安全をいかに担保するかを研究してきました。本委員会による公衆衛生上の適格な提言は、安全なクルーズ再開にむけた戦略の包括的アプローチとなるはずです」としています。

レヴィット元知事は「委員会では、クルーズ船という複雑な環境に最高レベルの安全性をもたらすための基準とガイドラインを策定すべく、学際的な公衆衛生調査を意欲的に行いました。パンデミックと闘ってきたクルーズ業界の経験を精査し、過去6か月間に医学と科学から得られた多くの教訓と進歩を取り入れました。提言はいずれも、現存するもっとも権威ある科学的・医学的情報に基づいたものであり、船を利用する人々の公衆衛生上のリスクをしっかりと軽減することを目的としています」と総括しています。



ロイヤル・カリビアン・グループ取締役会会長兼CEOリチャード・D・フェインは「私共には乗客、乗組員、そして寄港地のコミュニティの健康と安全のために積極的に行動する責任があります。その責任を最大限果たすにはどうすべきか、これを私たちがどのように学ぶべきかについての助言を委員会に依頼しました。パネリストとして参加して下さったエキスパートの皆さまの真摯な取り組みのおかげで旅行業界における最強のプロトコルが策定できたことに感謝しています」と述べています。

ノルウェー・ジャンクルーズライン・ホールディングス社長兼CEOフランク・デル・リオは「ヘルシー・セイル・パネルの提言は堅牢で包括的なものであり、パネリストたちの英知が結集しています。今、クルーズラインには世界中のオーソリティーと消費者から、できる限り安全で衛生管理がなされたクルーズ運営が待たれていると理解しています。この委員会はそうした要望に応える私共のコミットメントの証です」と今後への期待を含めたコメントをしています。

フェインとデル・リオ両CEOによると、両社は、今回の提言を活用して詳細にわたる運用プロトコルを作成し、各地のクルーズ再開に向けた重要なステップである審査と承認を受けるため、CDCや世界中のオーソリティーに提出します。提言内容は、他組織もそれぞれのプロトコルに組み込むことができるようにオープンソースとなっています。レヴィット元知事とゴットリーブ博士は、当局や他のクルーズ会社がすでにオブザーバーとして参加していることに感謝の意を表しています。

ヘルシー・セイル・パネルは、乗客や乗組員の健康と安全を向上させクルーズ船でのCOVID-19感染やその拡大のリスクを減らすために、すべてのクルーズ運行会社に取り組むべき5項目を特定しています：

- 1) 感染症検査、スクリーニング、ウイルス接触低減
- 2) 衛生管理と換気
- 3) 対応、緊急時マニュアル作成、実行
- 4) デスティネーションとツアーのプランニング
- 5) 乗組員のリスク軽減



さらにそれぞれの項目において、以下のような重要戦略を含む安全上の懸念事項に対応した実践的な提言が作成されました:

- 乗船前に乗組員と乗客双方に情報共有・スクリーニング・検査を徹底し、SARS-CoV-2 の船への侵入防止のための積極的対策を講じる。
- 空気管理戦略と衛生管理強化で感染リスク削減
- 船内での治療、隔離、迅速な避難、本国送還など、船内で感染者がでた場合のあらゆる可能性を想定した詳細にわたる船内感染対策
- 衛生管理された寄港地観光ツアー対策
- 乗組員の健康と安全強化

ヘルシー・セイル・パネルによる提言の全文はこちらから:

[Royal Caribbean Group](#) または [Norwegian Cruise Line Holdings Ltd.](#)

取材の問合せ先

シルバーシークルーズ 日本支社

E-mail: yusukei@silversea.com

Tel: 03-6868-8834